

食品安全委員会（第806回会合）議事概要

日 時:令和3年3月2日(火) 14:00~15:24

場 所:食品安全委員会大会議室

出席者:佐藤委員長外6名出席

動画配信:報道1名、一般4名

(1) 遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

- ・「JPAo004株を利用して生産されたキシラナーゼ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について
- ・「JPAo005株を利用して生産されたキシラナーゼ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について
- ・「JPBL004株を利用して生産されたホスホリパーゼ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について
- ・「JPBL005株を利用して生産されたホスホリパーゼ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当の川西委員及び事務局から説明

取りまとめられた評価書案について、意見・情報の募集手続に入ることとし、得られた意見・情報の整理、回答案の作成及び評価書案への反映を遺伝子組換え食品等専門調査会に依頼することとなった。

(2) 肥料・飼料等専門調査会における審議結果について

- ・「飼料添加物に関する食品健康影響評価指針(案)」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当の山本委員及び事務局から説明

取りまとめられた指針案について、意見・情報の募集手続に入ることとし、得られた意見・情報の整理、回答案の作成及び評価書案への反映を肥料・飼料等専門調査会に依頼することとなった。

(3) 薬剤耐性菌に関するワーキンググループにおける審議結果について

- ・「家畜に使用する亜鉛バシトラシンに係る薬剤耐性菌」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当の山本委員及び事務局から説明

取りまとめられた評価書案について、意見・情報の募集手続に入ることとし、得られた意見・情報の整理、回答案の作成及び評価書案への反映を薬剤耐性菌に関するワーキンググループに依頼することとなった。

(4) 食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見について

・動物用医薬品「イソオイゲノール」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明

本件について、動物用医薬品専門調査会におけるものと同じ結論、「イソオイゲノールは、「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3の(1)に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、その食品健康影響は無視できる程度と考えられる。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）に通知することとなった。

・動物用医薬品「トリメトプリム」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明

本件について、肥料・飼料等動物用医薬品専門調査会におけるものと同じ結論、「トリメトプリムは、「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3の(1)に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、その食品健康影響は無視できる程度と考えられる。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）に通知することとなった。

・飼料添加物「カンタキサンチン」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明

本件について、肥料・飼料等専門調査会におけるものと同じ結論、「カンタキサンチンは、「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3の(1)に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、その食品健康影響は無視できる程度と考えられる。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）に通知することとなった。

・動物用医薬品・飼料添加物「モランテル・ピランテル」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明

本件について、肥料・飼料等専門調査会におけるものと同じ結論、「モランテル・ピランテルのグループADIを、0.012 mg/kg 体重/日と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）に通知することとなった。

(5) 令和2年度食品健康影響評価技術研究課題の中間評価結果(案)及び令和3年度食品健康影響評価技術研究の新規対象課題(案)について

→担当の山本委員及び事務局から説明
本件については、案のとおり決定することとなった。

(6) 令和3年度食品安全確保総合調査課題(案)について

→担当の山本委員及び事務局から説明
本件については、案のとおり決定することとなった。

(7) 企業申請品目に係る食品健康影響評価についての標準処理期間の達成状況について

→事務局から報告

(8) その他

・食品健康影響評価において(Q)SARを活用して変異原性を評価する場合の手引き

→事務局から報告